

施設の現状

市には、学校、市役所、体育館など約450の公共施設があります。施設区別の面積を見ると、学校が36%で最も大きく、市民文化施設、庁舎と続きます。

総面積は約30万㎡(30ha)で市民1人あたりに換算すると6.3㎡となり、全国平均3.2㎡を大きく上回っています。

また、多くの施設で老朽化が進んでいます。

chapter 1

湯沢市の状況は？

公共施設を取り巻く現状と課題



特集 一斉に迫る建替の時期

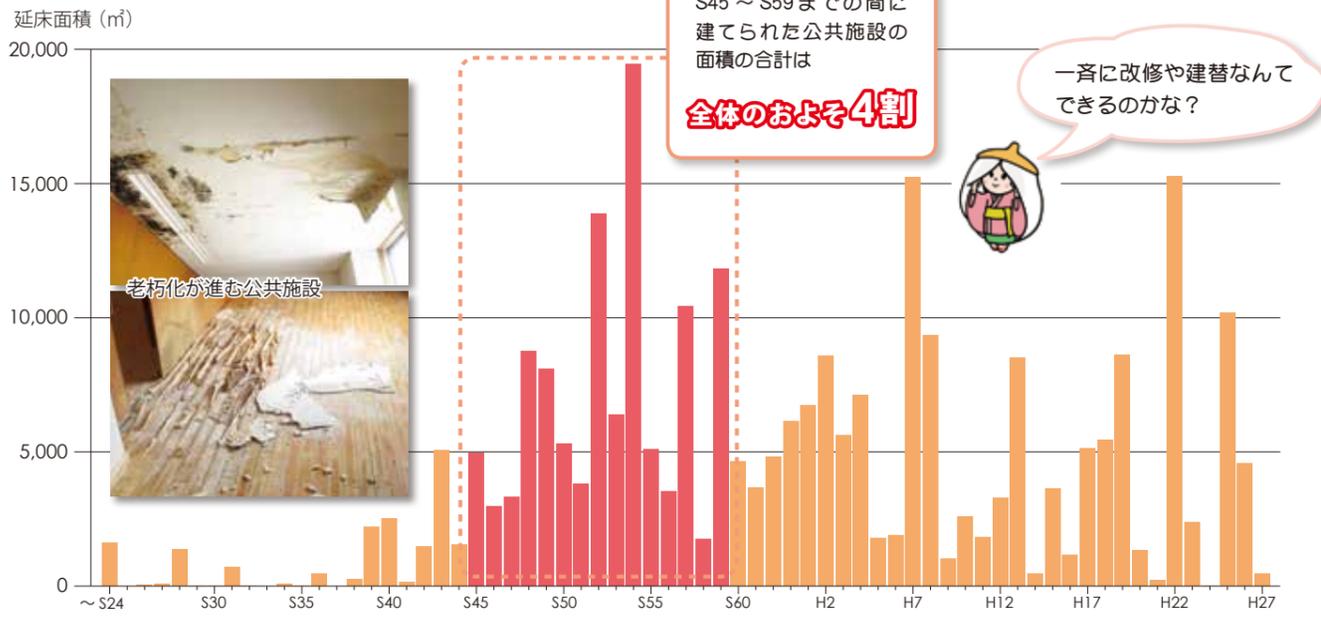
公共施設の

未来を考える

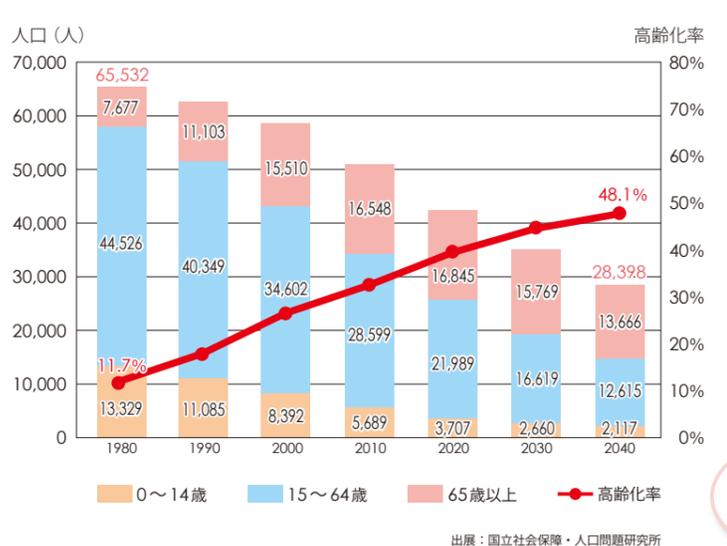
市内のあちこちこちらにある公共施設。合併後に整備した新しい施設、大切な文化施設、老朽化が進み改修や建替が必要な施設などさまざまですが、中には皆さんの需要(ニーズ)に合わなくなってきている施設があるのかもしれない。

今号では、公共施設は今どうなっているのか、何が課題になっているのかを知り、これからどうあるべきかを考えます。

■ グラフ① 建築年度ごとの面積推移



■ グラフ② 人口推計



ここまでのまとめ

今ある公共施設を全て残すことは**非常に難しい**状況です

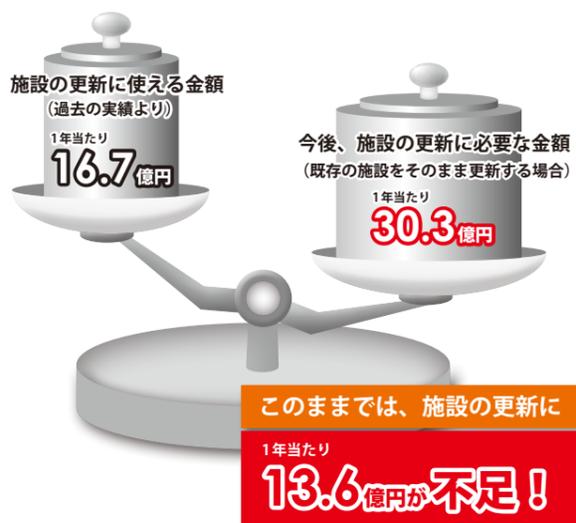
今ある公共施設を将来にわたって残す場合、
市の他のサービス（公共施設以外の行政サービス）の
維持・向上にも**影響が及びます**

借金をして施設を整備することは可能ですが、
その**負担**を子や孫など**将来世代に残す**ことになります

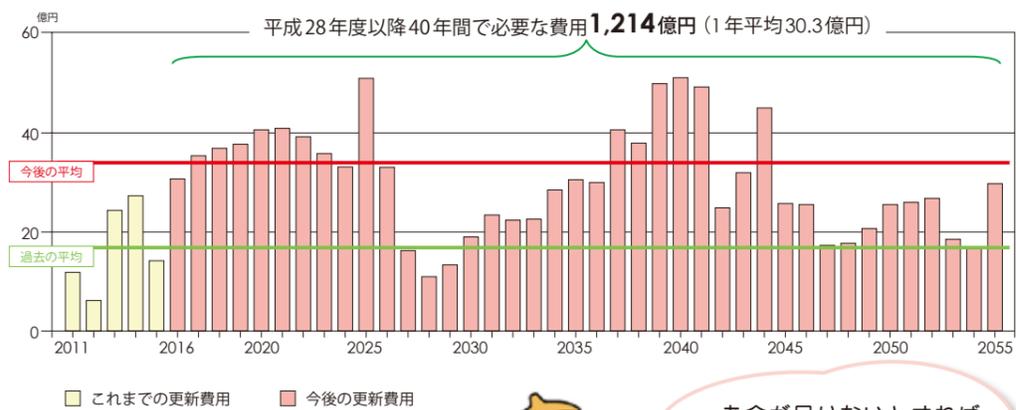
改修や建替をするには多くのお金が必要です

今ある施設を全て建替や大規模改修した場合の費用を試算したところ、1年当たり30・3億円が必要になります。市がこれまで更新に使ってきた費用は1年当たり16・7億円ですので、全て残すためには、現在の2倍近い費用（市民1人あたり年間4万円の追加負担）が必要になると見込まれます。

また、市全体の財政状況を見ると、市税や国からの仕送り（地方交付税）などの収入は減っていく一方で、社会保障費や借金の返済（公債費）などの支出は増えていくと見込まれ、財政状況は厳しさを増していきます。



■ グラフ③ 更新（改修・建替）に必要な費用の推計



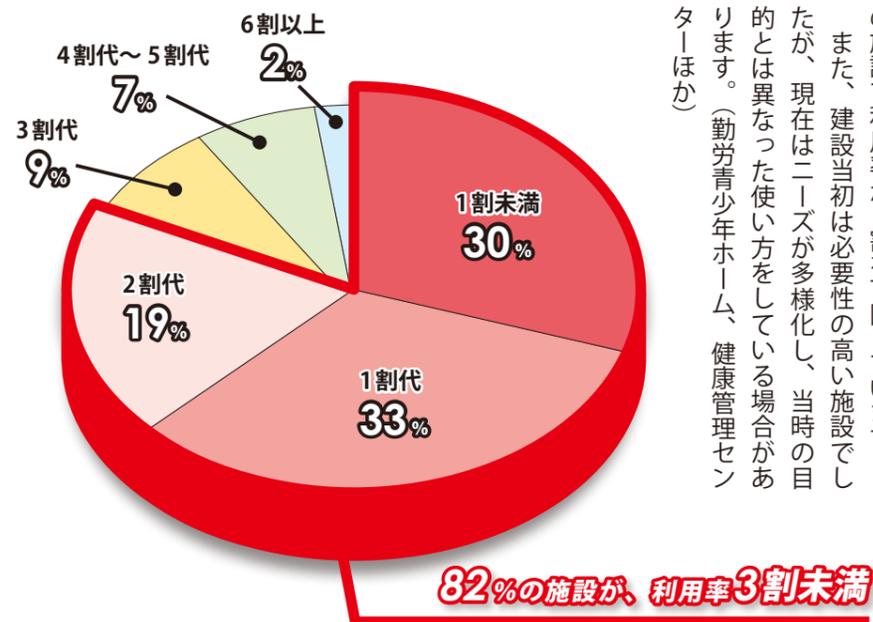
つまり、全ての施設を今のまま残すことは、「非常に難しい」と言わざるを得ません。

お金が足りないとすれば、本当に必要な施設を選んでいくことが大事になるね

同じような施設がたくさんあり、しかも十分に使い切れていない施設があります

これまでは、施設を建設するとき、目的別、対象者別に、それぞれの施設を整備してきました。その結果、市民の皆さんが利用できる施設はたくさん設置されてきましたが、各施設の利用状況を見ると、ほとんどの施設で利用率が3割を下回っています。また、建設当初は必要性の高い施設でしたが、現在はニーズが多様化し、当時の目的とは異なった使い方をしている場合があります。（勤労青少年ホーム、健康管理センターほか）

■ グラフ④ 利用率調べ



chapter 2

これから どうするの？

施設再編の考え方

このような厳しい状況を踏まえ、市では社会環境の変化に対応した公共サービスの提供と、公共施設の見直しによる将来負担の軽減を図るため、その基本方針（湯沢市公共施設等総合管理計画）を定めています。

公共施設の未来を考えると、単に特定の施設を「存続」するか「廃止」するかを決め、やみくもに施設の数や減らすということではなく、将来のまちの「あるべき姿」を考え、地域性や時代のニーズを把握した上で、公共施設全体をどうしていくかという視点が重要となります。具体的には、次の考え方を基本として、施設のあり方を検討していきます。

公共施設の配置や数量を、身の丈に合った状態に見直します

他施設との複合化など新たな手法を取り入れながら、施設の配置や数量を適正な状態にして財政負担を縮減します。

施設は見直しても、市民サービスが低下しないように、代替案を確保します

「施設」は見直しても、施設の中で行っている「サービス（機能）」の低下がないように、他の施設で実施するなど、代替案を確保します。

地域全体を見渡して、施設が有効に活用されるように、配置のあり方を検討します

地域に設置されている個々の施設を「点」で見るとはなく、地域全体を「面的」に見て、類似の施設や機能がある場合は、その内容などを点検し、施設が有効に使われるように見直します。

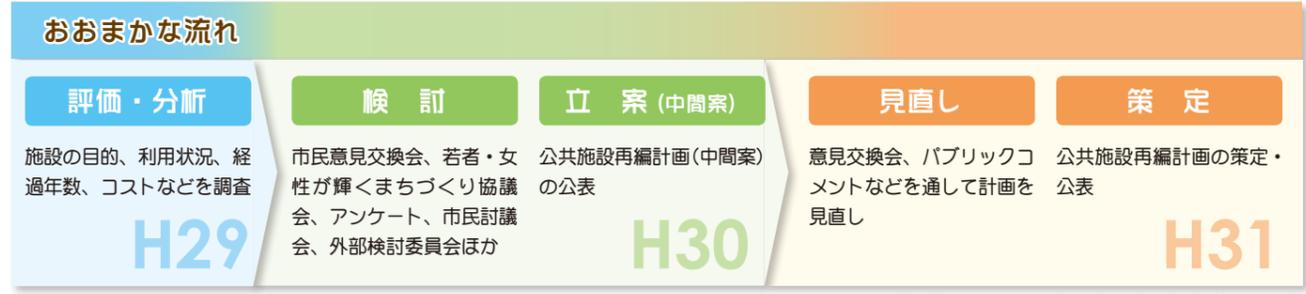
民間のノウハウを最大限に活用します

施設の整備や管理運営、余剰スペースの活用など、民間と協力して行うことで、サービスが向上したり、経費を節約できる場合があります。民間活用を積極的に進めます。

市民の皆さんのご意見を伺いながら、 具体的な再編計画を作ります

今後は、個別施設の方向性を示す「湯沢市公共施設再編計画（仮称）」を平成31年度末までに策定する予定です。検討に当たっては、さまざまな立場や世代、地域のかたがたからご意見を伺うことが重要と考えています。このため、普段から公共施設を利用しているかたがたはもちろんのこと、これまでほとんど利用したことがないかたがたの意見もバランスよく伺います。

- 集会施設やスポーツ施設を一度も利用したことのない市民…4割（H28 公共施設に関するアンケート調査）
- 集会施設の維持管理経費のうち、利用者負担…1割未満（H29 施設評価結果）



経費の9割は、利用していない方を含めた皆さんの税金で運営されています。

みんなで考えよう！公共施設の未来！！

意見交換会を開催します

公共施設の現状や課題、市の考え方などをお伝えするとともに、**市民の皆さんの率直なご意見を伺うため**、意見交換会を開催します。どなたでも参加できますので、**ぜひとも会場にお越しください。**

日時	会場	地域名	対象地区
5月10日(木) 午後6時30分～	サンチェリー湯沢 研修室	湯沢	山田、三関、須川、高松
5月11日(金) 午後6時30分～	雄勝文化会館オービオン 視聴覚ホール	雄勝	院内、横堀、秋ノ宮、小野
5月17日(木) 午後6時30分～	皆瀬総合支所 2階会議室B・C	皆瀬	皆瀬
5月18日(金) 午後6時30分～	稲川生涯学習センター 視聴覚研修室	稲川	稲庭、三梨、川連、駒形
5月24日(木) 午後6時30分～	湯沢雄勝広域交流センター 第1研修室	湯沢	湯沢(湯沢南中学校区) ※三関、須川、高松は5月10日
5月25日(金) 午後6時30分～	湯沢雄勝広域交流センター 第1研修室	湯沢	湯沢(湯沢北中学校区)

※所要時間を1時間30分程度と想定しています。
※原則として地区別の開催となりますが、ご都合が悪い場合は別の会場にお越しいただくことも可能です。

本特集記事と意見交換会についての問い合わせは企画課企画政策班まで (☎73-2113)

chapter 4 具体的には 何をしますの？

先進事例 1

民間企業や国・県との連携 (PPP)

民間企業等の施設を活用したり、民間企業等と共同で施設を整備することで、市の公共施設をスリムにしながら必要なサービスを提供できる場合があります。

- ▶公共施設の量を削減 ▶コストの削減(建設・運営等)
- ▶色々な機能が集まって利便性が向上
- ▶民間のノウハウでサービス向上



chapter 3 どういう 方法があるの？

全国にはさまざまな先進事例があります。その一例を紹介します。

先進事例 2

複合化(機能の合体)

施設をスリム化しながら市民の利便性を向上させる方法として、これまで別々にあった機能を1つの建物にまとめる「複合化」があります。例えば学校に他施設の機能を集めることで、右記のような効果が期待できます。

- ▶地域づくりの拠点性を高めてコミュニティの活性化
- ▶公共施設の量を削減
- ▶世代間交流の促進
- ▶色々な機能が集まって利便性が向上
- ▶見守りによる児童の防犯効果 など

